※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ　（光村図書）						
副教材等	高校硬筆の練習　（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅱではより高度な用筆法による表現の違い等を学びましょう。
・篆、隷、行、草、楷書、仮名、変体仮名に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・篆刻やパネル作品を作ることで生活の中に書を生かし、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・楷書(薦季直表・爨法子碑)行書(集王聖教序・温泉銘)草書(十七帖・書譜)隷書(乙瑛碑・居延漢簡)及び篆書(泰山刻石・金文・甲骨文)の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(砂文字作品)	a:漢字の書を構成するさまざまな要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等によって全体を構成する技能を身に付けている。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、特質や歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:漢字の書の伝統と文化に親しみをもって豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	篆刻	・篆刻を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図の応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:用具・用材の特徴、書体や書風、配字による表現効果との関わりについて理解している。 a:選文や印稿の制作、布字、運刀、押印・補刀の技能、書体や書風、配字や構成を生かして表現する技能を身に付けている。 a:表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、篆刻の伝統的な鑑賞の方法や形態、用途について理解している。 b: 書体や書風、配字や構成を構想し、意図に基づいて表現を工夫している。 b:鑑賞に関わる知識を生かし、各作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:篆刻の伝統と文化に親しみをもって豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書	・臨書を通じて、古筆（平仮名・変体仮名・片仮名）の表現形式に応じた全体の構成と仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆（高野切第一種）の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。（創作）	a：仮名の書を構成するさまざまな要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a：仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継や散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 b：仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b：鑑賞に関わる知識を生かし、各作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c：仮名の書の伝統と文化に親しみをもって豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字（楷書・行書・隷書・草書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する。（パネル作品）	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:漢字仮名交じりの書の伝統と文化に親しみをもって豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度